

令和4年度版



TSURUMI
発見つるみ!
～データで見る鶴見区～



Tsurumi Ward
Since 1927

鶴見区の
ホームページへは
こちらから!



鶴見区のマスコット ワックン

はじめに

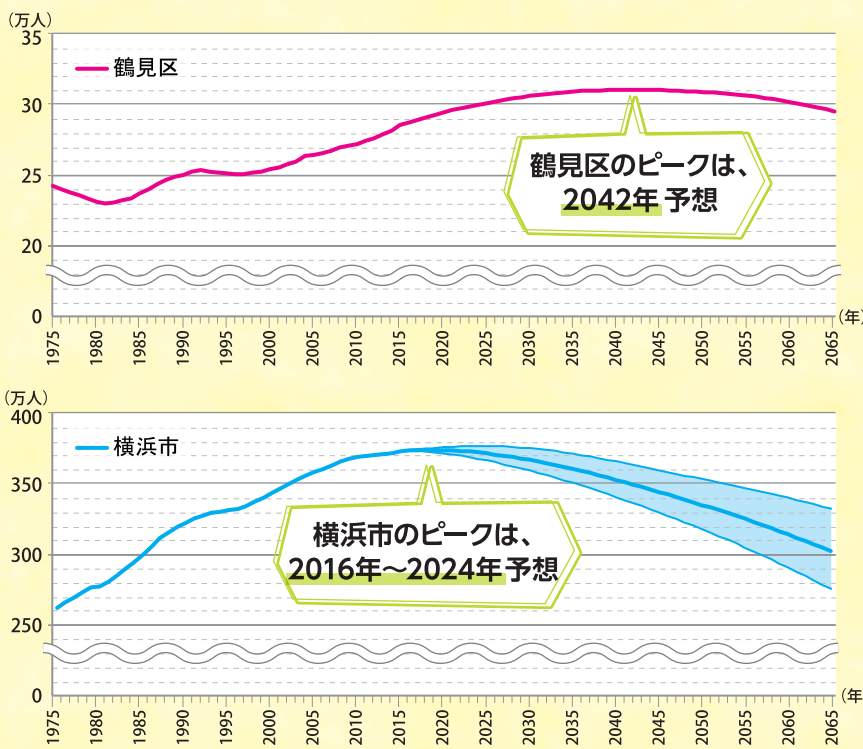
令和4年度は、沖縄の本土復帰50年を記念して制作された連続テレビ小説「ちむどんどん」(NHK)の舞台の一つとして鶴見が登場し、全国的に注目が集まりました。

京浜工業地帯の一角に位置する鶴見区は、戦前より、沖縄をはじめ全国から移住者を受け入れてきました。移住者の多くは工場で働き、戦後日本の高度経済成長を支えてきた産業の発展に大きく関わりました。

産業の発展とともに、まちも発展した鶴見区の現在の人口は約29万5千人(市内18区中第3位)、世帯数は約14万6千世帯(同第2位)です。

本冊子「発見つるみ!データで見る鶴見区」は、人口や産業をはじめ、生活に関する様々なデータを、鶴見区の特徴をとらえながらわかりやすくまとめています。これまでの鶴見、そして、これからの「いつまでも住み続けたいまち・鶴見」を考えていただく際の資料として、ご活用いただければ幸いです。

COLUMN



鶴見区の人口は 2042年がピーク!?

横浜市では5年ごとに行われる国勢調査をもとに将来の人口を予想しています。平成29年(2017年)に公表された将来推計人口では、横浜市の人口のピークは平成28年(2016年)~令和6年(2024年)におとずれ、その後減少すると予測される中、鶴見区は令和24年(2042年)を目安に人口のピークを迎えると予測されています。

※2016年以降は、2015年の国勢調査に基づいた推計値

人口の統計情報はP4以降に掲載しているよ!



資料: 統計情報ポータル
長期時系列データ(人口・世帯)、
横浜市将来人口推計(政策局)

目次

1 鶴見区のプロフィール	
1 区の歩みと現状・誕生・地勢	2
2 鶴見区的主要指標	3
2 人口	
1 人口の動向	4
2 年齢別の人口	5
3 外国人住民	7
4 就業状況・労働力人口・労働力率	8
5 流出人口・流入人口・昼夜間人口	8
3 産業	
1 事業所	9
2 商業	10
3 工業	11
4 暮らしと環境	
1 住宅・2 消防	12
3 交通・4 犯罪	13
5 環境	14
6 区民フェスティバル	15
7 市税・8 戸籍	16
9 生活保護・10 子育て	17
11 健康・12 選挙	18
コラム	19
略年表	20
つるみマップ	

～ご利用にあたって～

構成比、総数の合計については、端数を四捨五入しているため、内訳計と一致しない場合があります。





1 区の歩みと現状・誕生・地勢



鶴見区シンボルマーク
平成3年2月14日制定

区制施行：昭和2年10月1日
〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央三丁目
20番1号
TEL 045-510-1818 (代表)
FAX 045-510-1889

面積：33.23km² (令和4年10月1日現在)
人口：295,366人 (同上)
世帯数：146,524世帯 (同上)
区民の花：サルビア (平成3年11月制定)
区の木：サルスベリ (平成9年10月制定)
マスコット：ワックン (昭和63年1月制定)

● 区の歩みと現状

鶴見区は市の北東部に位置し、昭和2年10月1日、横浜市の区制施行により誕生しました。「鶴見」の名は鎌倉時代の史料からも現れており、源頼朝がこの地で鶴を放ったという伝説からその名がついたという説もありますが、「ツル」は「鶴」とは関係なく水路や河川の周辺の地を、「ミ」は「まわり、めぐり」を意味する語で、「ツルミ」は蛇行している鶴見川の地形を表しているという説もあります。

鶴見は、江戸時代の頃から鶴見川の水運や東海道を往来する人によって、川筋や街道筋が賑わっていました。漁業が盛んだった沿岸部では、明治の頃から埋め立てが進み、京浜工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。戦後は、高度経済成長とともに、商工業の集積と人口増加が進みました。

現在の鶴見区は、29万5千人を超える人口を擁し、住宅地が連なる丘陵部「丘のまち」、鶴見川に沿った「川のまち」、臨海部の「海のまち」で構成されています。

「丘のまち」には、県立三ツ池公園や獅子ヶ谷市民の森などの豊かな自然があり、四季折々の美しい景色を楽しむことができます。また、横浜市指定文化財の横溝屋敷や、横浜市認定歴史的建造物の旧澤野家長屋門(通称「馬場の赤門」)などが保全・活用され、歴史を活かしたまちづくりが行われています。

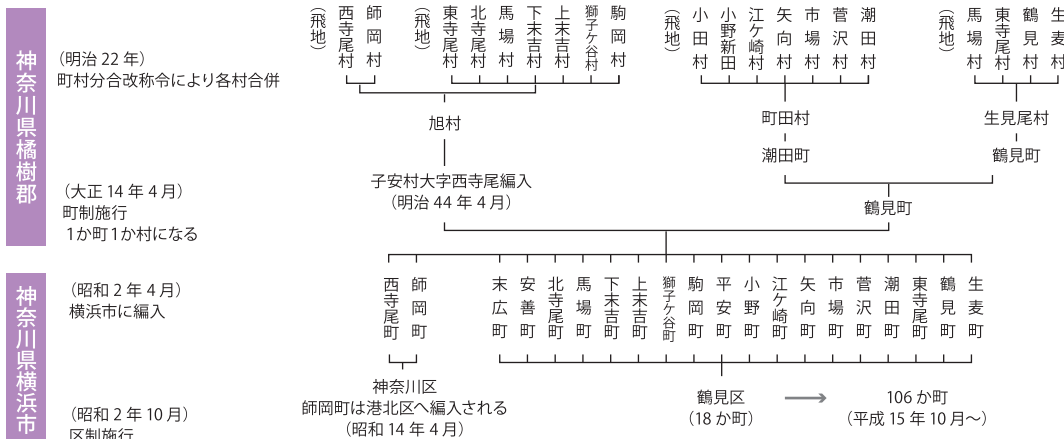
鶴見川を中心とした「川のまち」では、工場から住宅などへの利用転換が進み、工業、商業、住宅が混在するまちとなっています。外国人が多く住む国際色豊かな地域でもあり、鶴見川は、多くの区民が散歩などで親しむ鶴見区のシンボルとなっています。

臨海部の「海のまち」では、生命科学の世界的な研究施設「理化学研究所横浜キャンパス」や産学連携を推進する「横浜市産学共同研究センター」などが末広地区に整備され、国際的な一大研究拠点＝横浜サイエンスフロンティアとしての再編整備が進んでいます。



● 誕生

資料：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市民局



● 地勢

- 極東：扇島
- 極西：上の宮二丁目
- 極南：大黒ふ頭
- 極北：矢向六丁目
- 最高地：馬場四丁目 (海面からの高度 47.2m)

資料：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市民局

2 鶴見区の主な指標

区 分	鶴見区	横浜市	18 区中順位	基準日
人 口	295,366 人	3,771,961 人	3 位	R 4.10.1
世帯数	146,524 世帯	1,781,879 世帯	2 位	R 4.10.1
1世帯あたり人員	2.02 人	2.12 人	13 位	R 4.10.1
面 積	33.23 km ²	437.78 km ²	3 位	R 4.10.1
人口密度	8,889 人 / km ²	8,616 人 / km ²	7 位	R 4.10.1
平均年齢	44.66 歳	46.70 歳	15 位	R 4.1.1
出生数	2,084 人	24,876 人	2 位	R 3 年中
死亡数	2,568 人	36,333 人	4 位	R 3 年中
自然増加数	-484 人	-11,457 人	7 位	R 3 年中
社会増加数	-1,083 人	7,200 人	18 位	R 3 年中
老年人口比率 (65 歳以上)	21.5%	25.2%	15 位	R 4.1.1
年少人口比率 (15 歳未満)	12.5%	11.8%	5 位	R 4.1.1
外国人人口	13,373 人	98,752 人	2 位	R 4.3.31
事業所数 <small>(R3 経済センサス-活動調査-速報) (事業内容等不詳も含む)</small>	10,390	142,967	4 位	R 3.6.1
事業所従業員数 <small>(R3 経済センサス-活動調査-速報) (事業内容等不詳も含む)</small>	109,871 人	1,506,832 人	5 位	R 3.6.1
商業事業所数 <small>(H28 経済センサス-活動調査-)</small>	1,429	20,225	6 位	H28.6.1
商業従業員数 <small>(H28 経済センサス-活動調査-)</small>	13,054 人	227,556 人	8 位	H28.6.1
工業事業所数 <small>(R2 工業統計調査)</small>	323	2,214	3 位	R 2.6.1
工業従業員数 <small>(R2 工業統計調査)</small>	15,200 人	87,983 人	2 位	R 2.6.1

※世帯数と人口は、令和 2 年国勢調査結果（確定値）を基礎とし、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加減して推計しています。

※人口比率は年齢不詳を除いた総人口で算出しています。

※事業所数及び事業所従業員数は民営事業所の数字です。

※工業事業者数及び工業従事者数は従業員 4 人以上の事業所を対象としています。

※順位は数値の大きいものから並べた際の順位です。



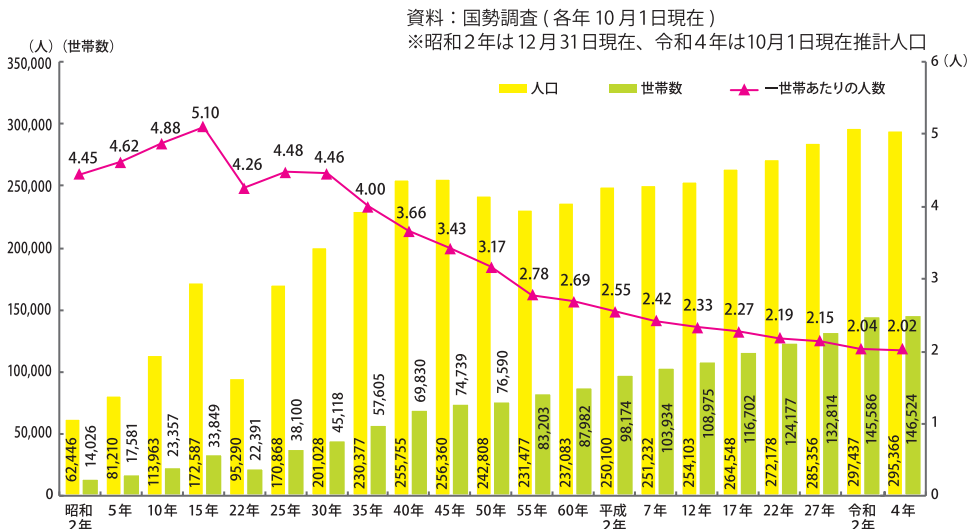


1 人口の動向

● 人口及び世帯数の推移

戦後、増え続けていた人口は昭和43年7月の260,777人をピークに一時減少し、昭和56年4月に229,945人と落ち込みましたが、その後は増加が続き、令和2年には人口・世帯数共に過去最高を更新しました。

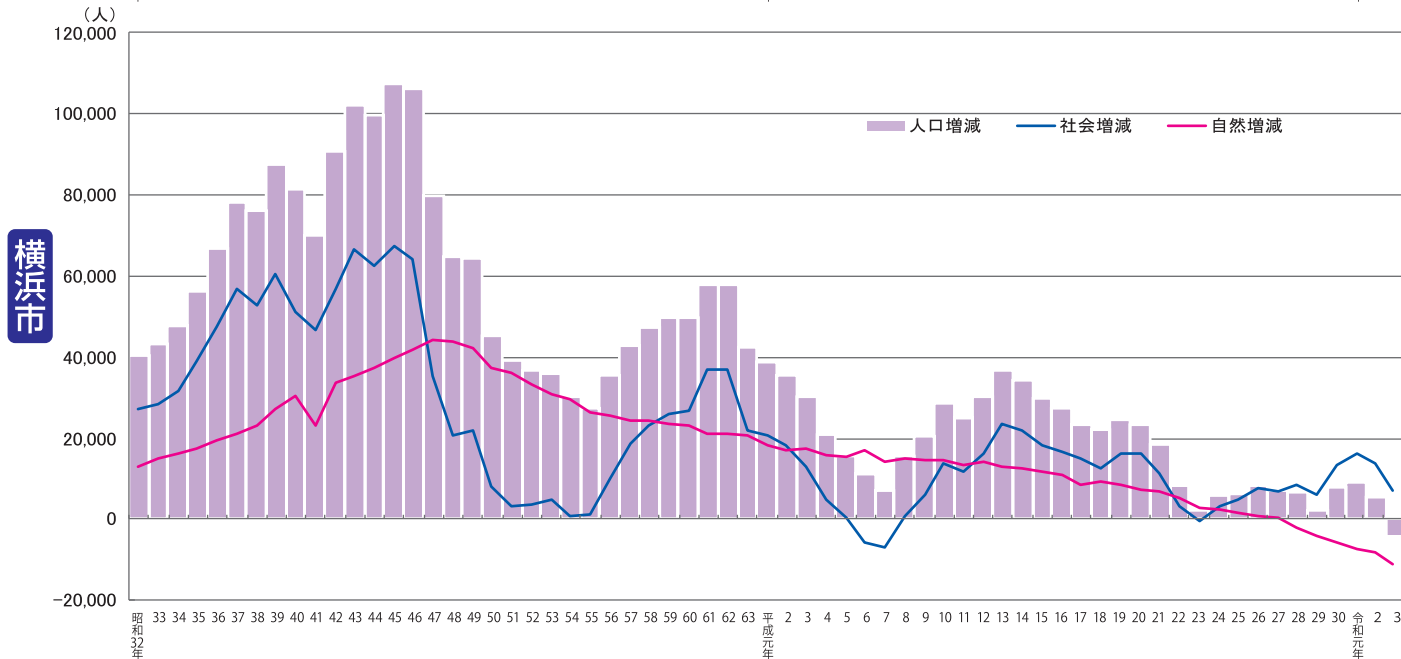
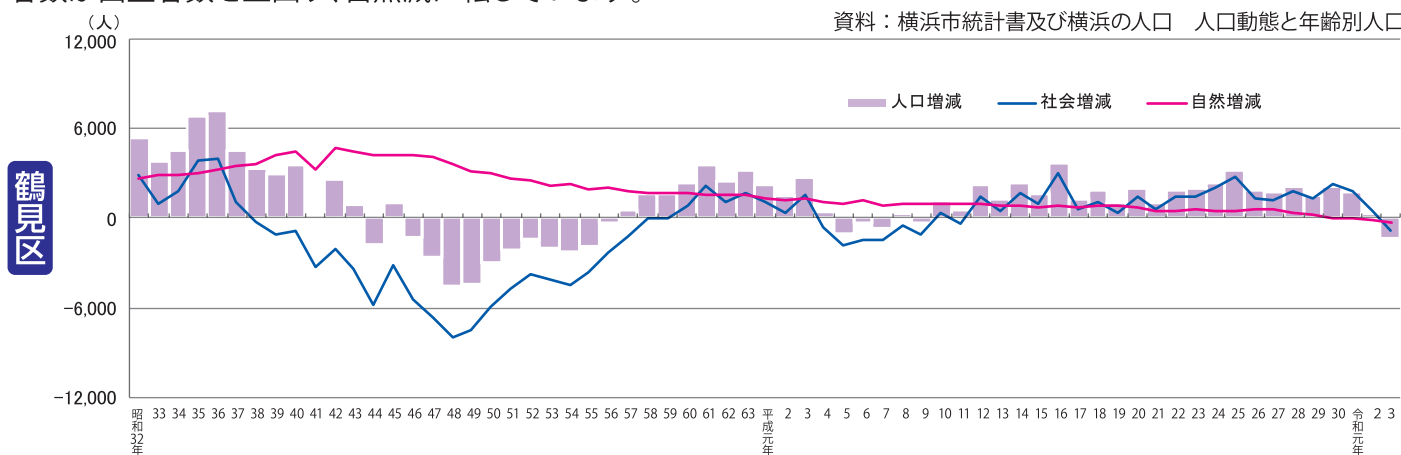
令和4年10月1日現在、鶴見区の人口は295,366人、世帯数は146,524世帯となっています。



● 人口増減・社会増減・自然増減の推移

鶴見区の人口は、増減を繰り返しながら推移しています。昭和40年代後半に、転出者数が転入者数を上回ったこと（社会減）により、人口が大きく減少しました。昭和50年代後半から社会増に転じたことによって、人口が増加したものの、バブル期を経て平成4年より再び社会減・人口減の傾向が続きました。その後、平成12年からは社会増・人口増に転じていましたが、令和3年に再び社会減・人口減に転じています。また、平成30年から死亡者数が出生者数を上回り、自然減に転じています。

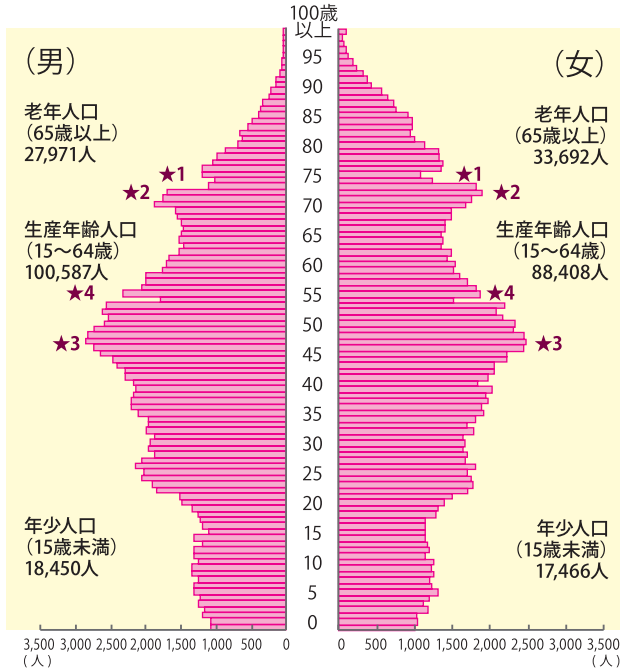
資料：横浜市統計書及び横浜の人口 人口動態と年齢別人口



2 年齢別の人口

● 人口ピラミッド

鶴見区人口ピラミッド (R4.1.1 現在)

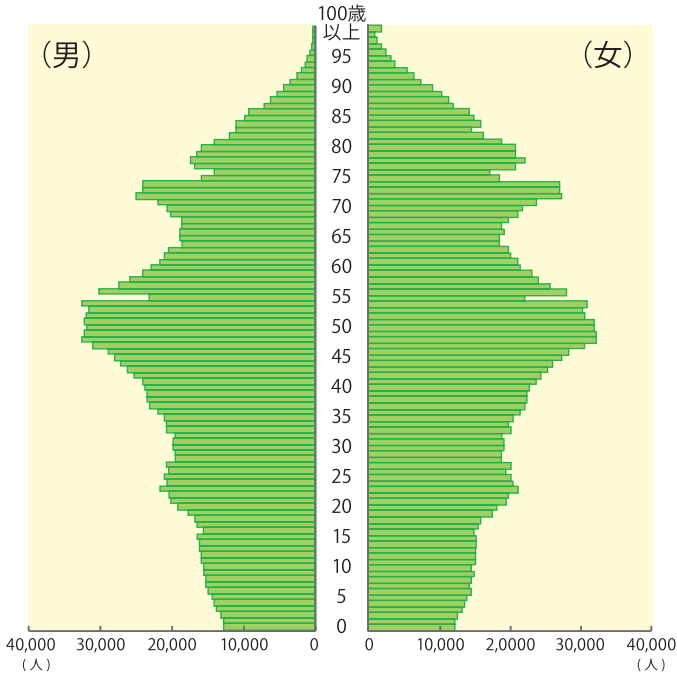


人口ピラミッドの特徴としては、第2次世界大戦終戦前後(★1)に出生減があり、その後第1次ベビーブーム(★2)、第2次ベビーブーム(★3)によって大きく膨らんでいます。また、その間にある大きな凹み(★4)は、1966年(昭和41年)の丙午による出生減となっています。

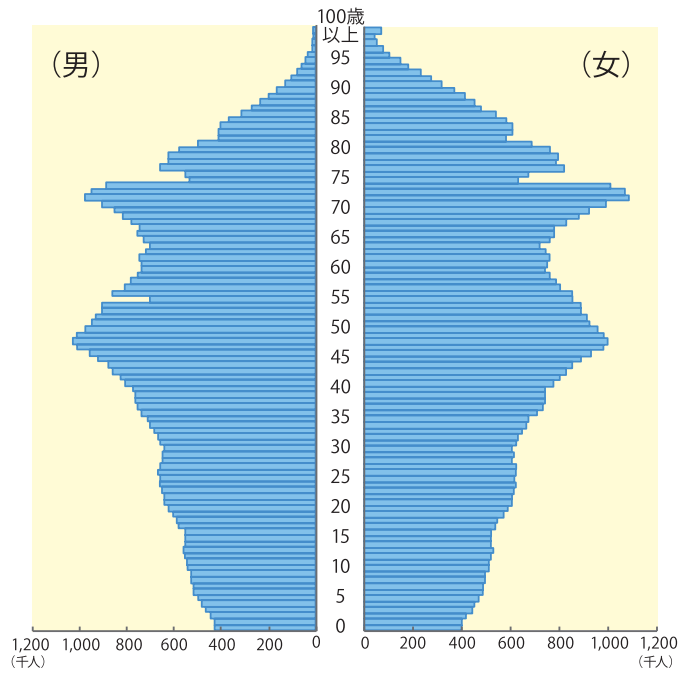
鶴見区の人口ピラミッドの特徴としては、40歳代後半の第2次ベビーブーム時期の人口が、70歳代前半の第1次ベビーブーム時期の人口より大きな山を描いています。

資料：横浜の人口 年齢（各歳・5歳階級）・男女別人口
総務省統計局
年齢（各歳）、男女別人口及び人口性比―総人口、日本人人口

横浜市人口ピラミッド (R4.1.1 現在)



全国人口ピラミッド (R3.10.1 現在)



● 人口増減・社会増減・自然増減の数 (令和3年中)

資料：横浜の人口 人口動態と年齢別人口

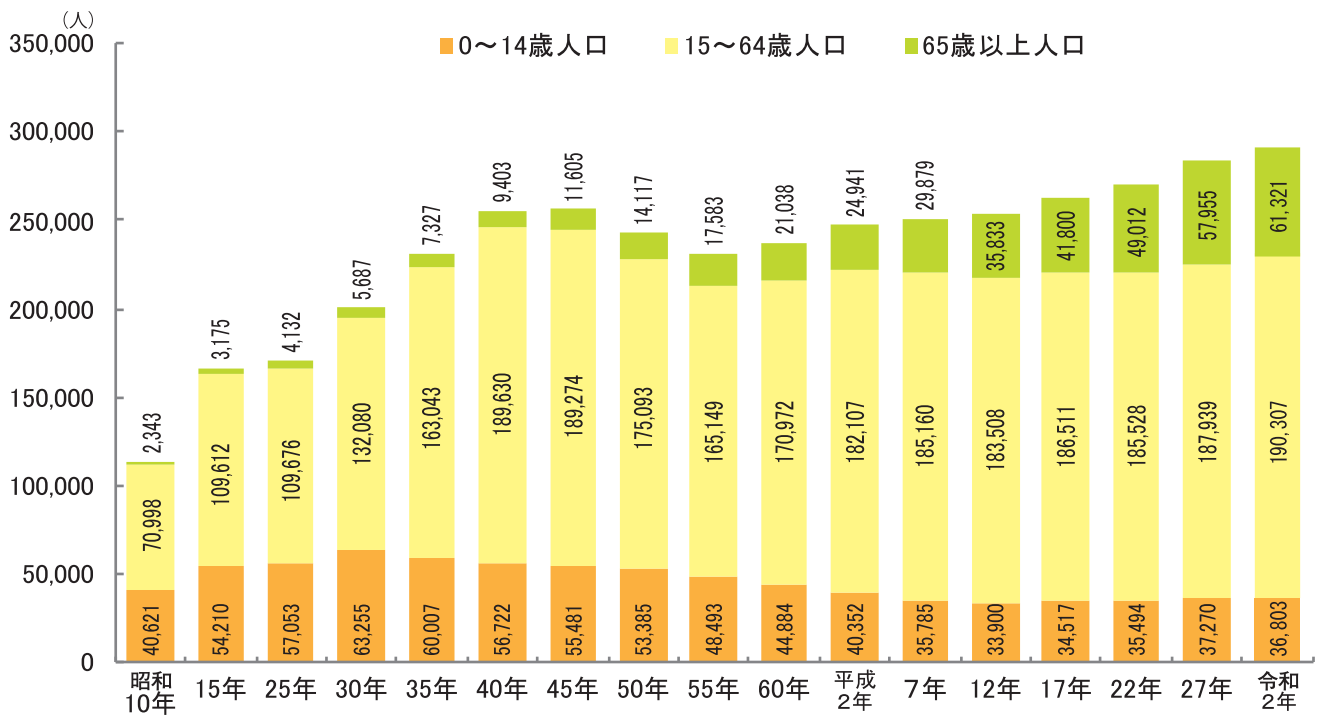
	人口増減	社会増減	自然増減
鶴見区	-1,567人	-1,083人	-484人
横浜市	-4,257人	7,200人	-11,457人

● 行政区別平均年齢 (R4.1.1 現在)

資料：横浜の人口 男女、行政区、年齢3区分別人口、年齢構成指数及び平均年齢

平均年齢が低い区	👑	平均年齢が高い区
都筑区(43.45歳)	1位	栄区(49.53歳)
港北区(44.02歳)	2位	旭区(49.18歳)
西区(44.52歳)	3位	金沢区(49.05歳)
鶴見区(44.66歳)	4位	港南区(48.80歳)

● 年齢3区分別人口の推移（鶴見区）



資料：国勢調査（各年10月1日現在）

年齢3区分別人口をみると、老年人口の増加が進んでおり、平成12年に15歳未満の年少人口と、65歳以上の老年人口の数が逆転したあと、近年その差が広がる傾向にあります。



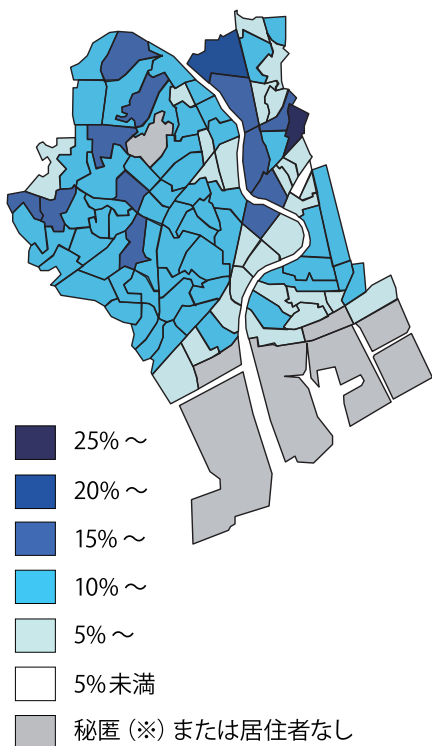
65歳以上の老年人口の割合が年々増えているね。



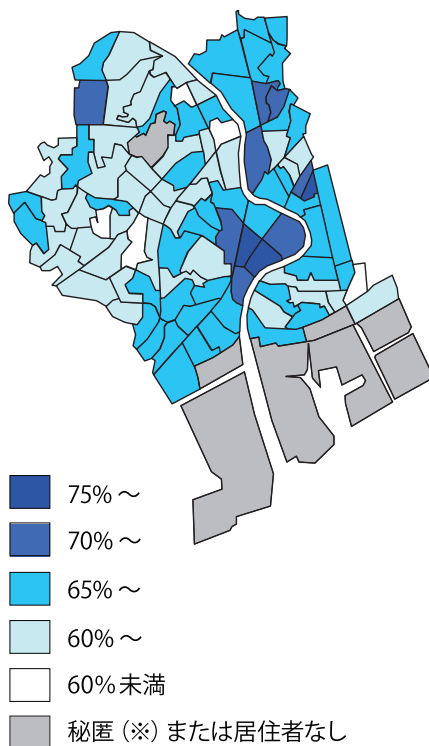
地図で見る鶴見 ～年少・生産年齢・老年の各人口比率～

資料：住民基本台帳（令和4年3月31日現在）※大黒ふ頭、扇島は省略しています
横浜市町区域要覧（平成28年6月現在）

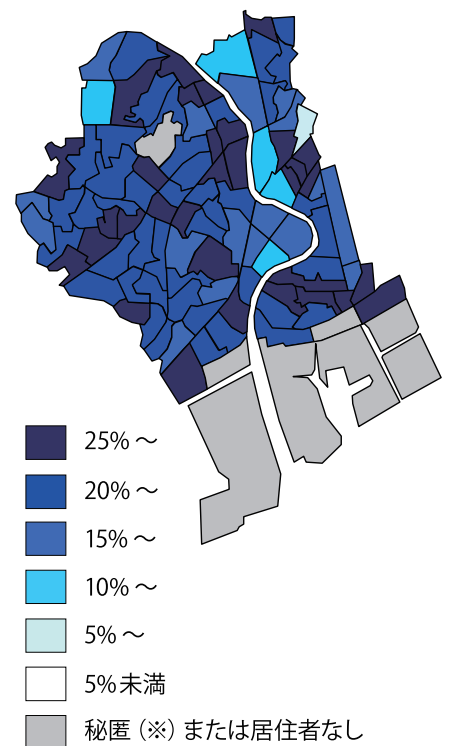
年少人口（15歳未満）人口比率



生産年齢人口（15～64歳）人口比率



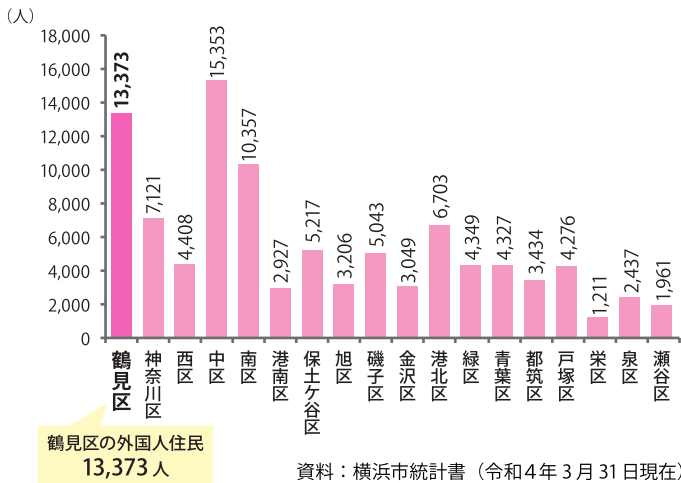
老年人口（65歳以上）人口比率



（※）データを示すことで個人が特定される恐れのあるものは「秘匿」としています。

3 外国人住民

● 区別外国人住民

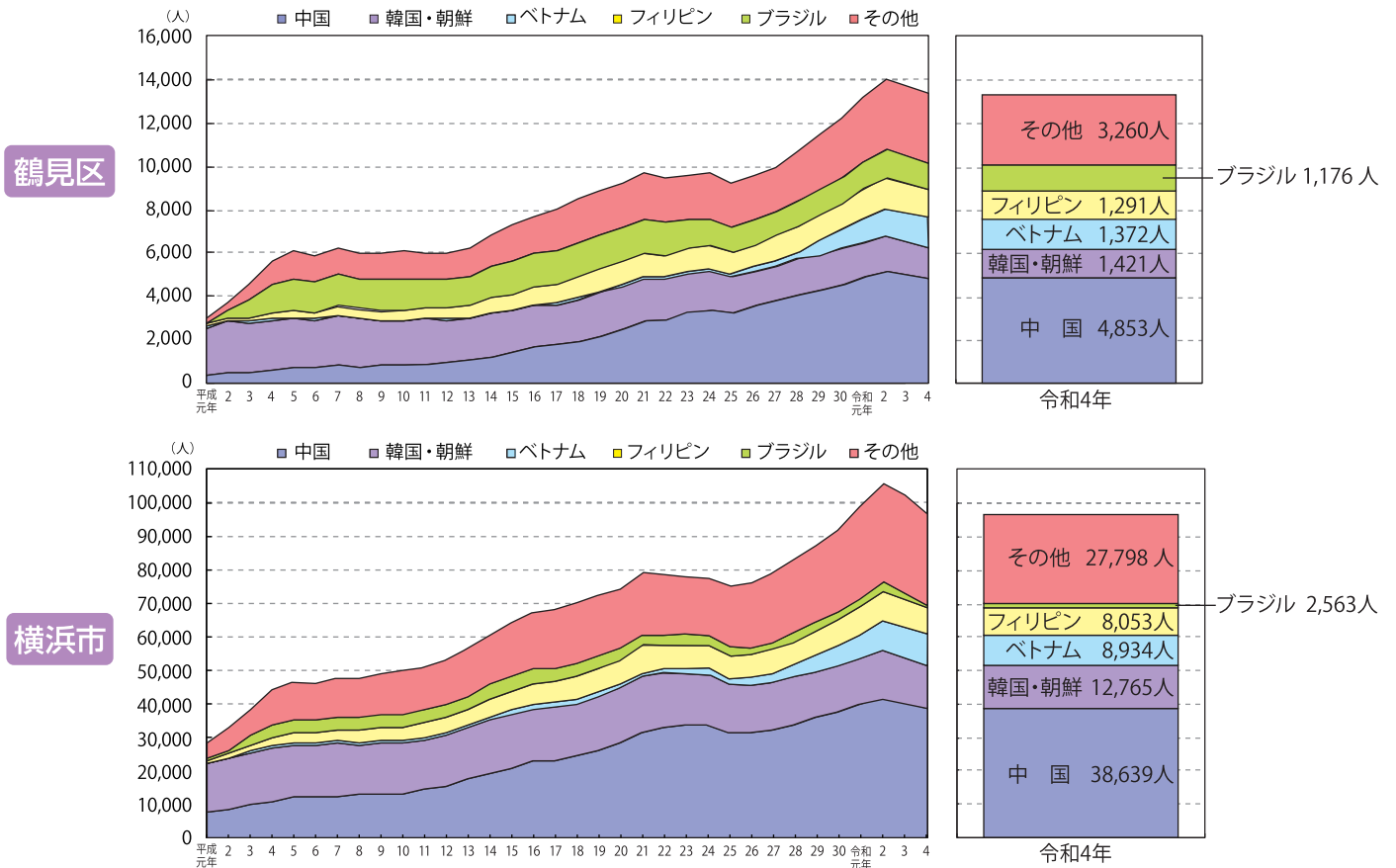


令和4年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は13,373人です。（前年より297人減少）これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。国籍別にみると、中国、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピン、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジル国籍の構成比が大きいですとが分かります。

鶴見区は、外国人児童数（※）が550人で、18区で一番多いよ！
 ※ 市立小学校に通う外国人児童の数
 資料：横浜市教育委員会「市立学校現況」（令和4年5月1日現在）



● 国籍別外国人住民数の推移



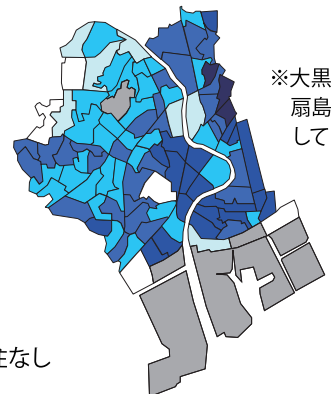
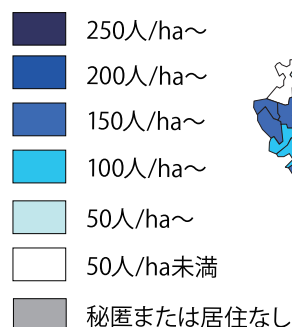
Have a break!



地図で見る鶴見 ～人口密度～

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一丁目、尻手三丁目、市場上町、矢向五丁目、市場富士見町などです。また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。

資料：住民基本台帳（令和4年3月31日現在）

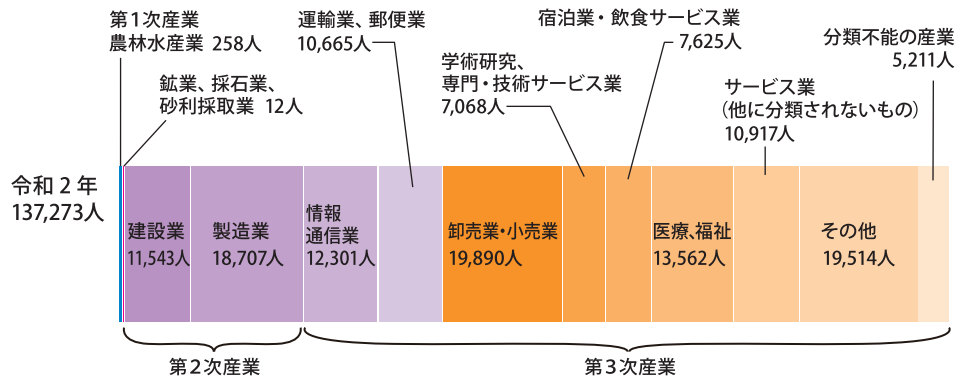


※大黒ふ頭・扇島は省略しています。

4 就業状況・労働力人口・労働力率

就業状況

鶴見区の実業者は、第3次産業、第2次産業、第1次産業の順に多く、産業大分類別にみると、卸売業・小売業の実業者数が19,890人と最も多くなっています。



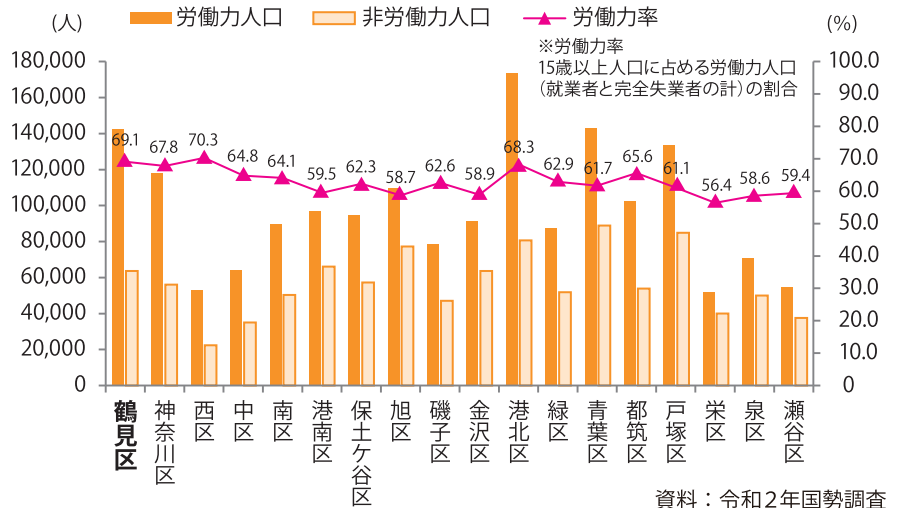
労働力人口・労働力率

鶴見区の実業人口は、141,947人で、行政区別にみると、港北区、青葉区に次いで、3番目の多さです。

鶴見区の実業率は69.1%で、18区中2位となっています。



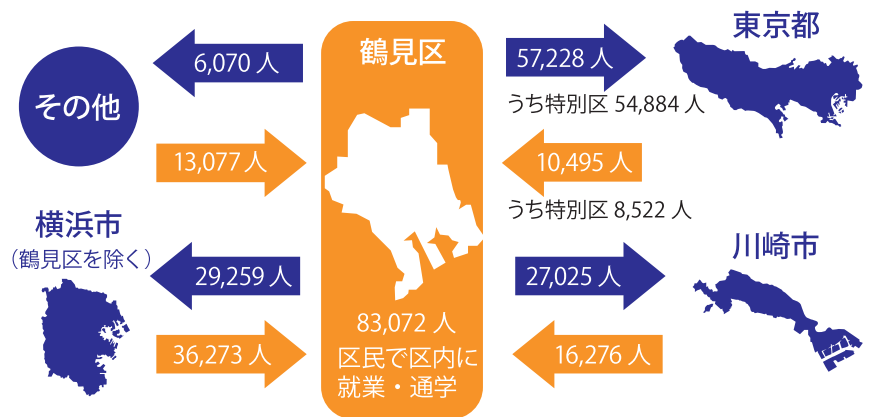
18区の中で実業率が一番高いのは、西区(70.3%)。鶴見区との差は、1.2ポイントだよ!



5 流出人口・流入人口・昼夜間人口

流出人口・流入人口

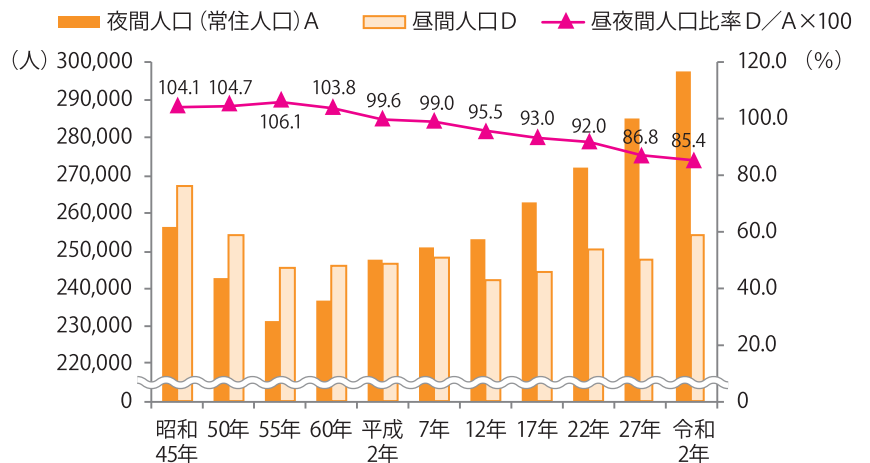
鶴見区に常住(居住)する15歳以上の実業者及び通学者数は202,654人で、そのうち、区内で就業・通学する者は83,072人(41.0%)と最も多く、横浜市内他区へ就業・通学する者は29,259人(14.4%)となっています。また、横浜市内では、東京都へ就業・通学する者が57,228人(28.2%)となっています。



昼夜間人口

令和2年の鶴見区の昼間人口は253,976人、夜間人口は297,437人であり、平成2年以降、夜間人口が昼間人口を上回っています。

また、昼夜間人口比率は85.4%で昭和55年の106.1%をピークに減少を続けています。

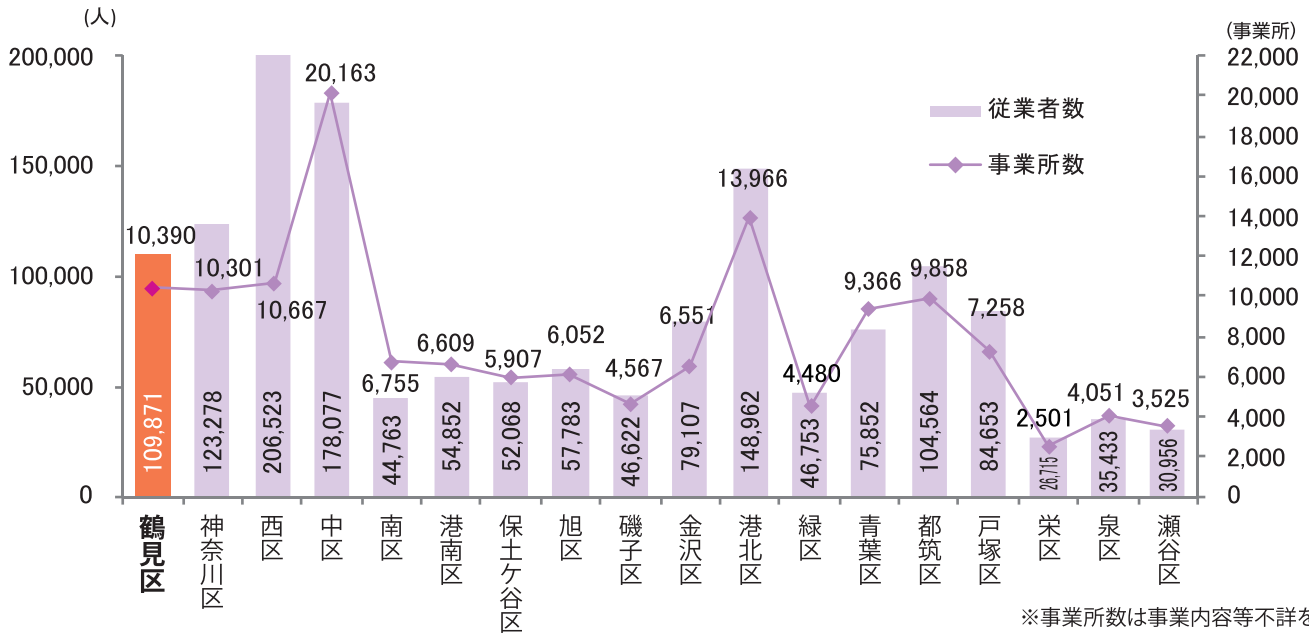




1 事業所

● 区別民営事業所数・従業者数

令和3年の鶴見区の民営事業所数は、10,390 事業所となっており、18 区の中では、中区、港北区、西区に続き、4 番目の多さとなっています。従業者数は、109,871 人で、西区、中区、港北区、神奈川区に続いて5 番目に多くなっています。



※事業所数は事業内容等不詳を含む
資料：令和3年経済センサス-活動調査-速報

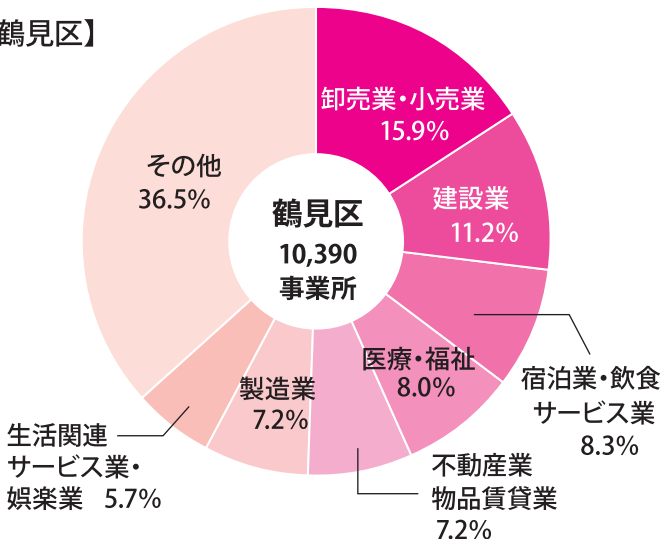
● 民営事業所数の産業大分類別構成比（鶴見区・横浜市）

鶴見区の民営事業所数の構成比は、大きい順に、卸売業・小売業、建設業、宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉となっています。

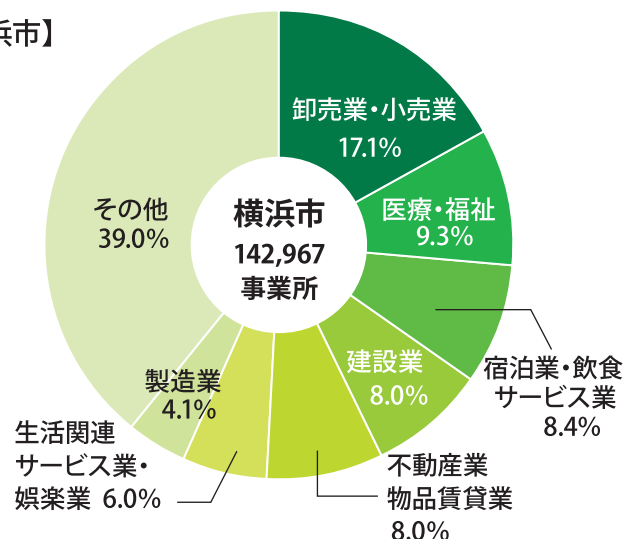
横浜市は、製造業が 5,933 事業所で、構成比では 4.1%であるのに対し、鶴見区の製造業は 746 事業所で 7.2%を占めています。横浜市の製造業の事業所の約8分の1が鶴見区にあり、鶴見区は製造業の割合が高いことがわかります。

※事業所数は事業内容等不詳を含む
資料：令和3年経済センサス-活動調査-速報

【鶴見区】



【横浜市】



2 商業

鶴見区は、卸売業では「機械器具」の割合が高くなっています。また、小売業では「飲食料品」の割合が高くなっています。

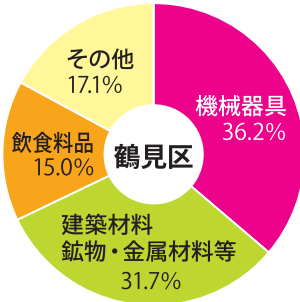
年間商品販売額は約 5,491 億円であり、18 区中7位となっています。

鶴見区の事業所数は、中区、西区、港北区、都筑区、神奈川区について、18 区中6番目となっているよ。

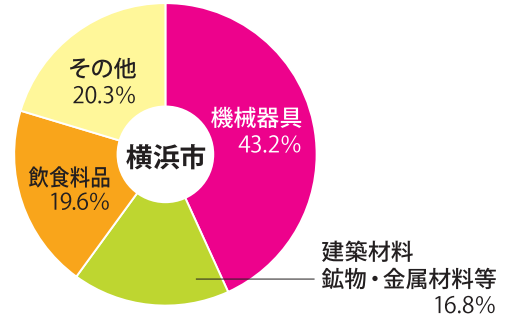


● 産業中分類別年間商品販売額構成比

卸売業

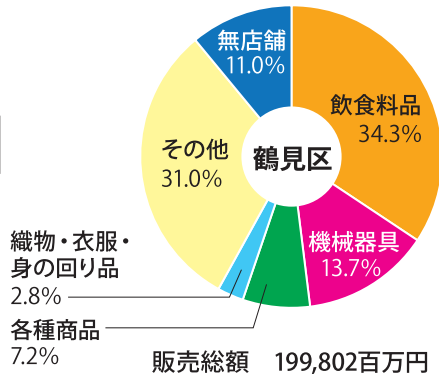


販売総額 349,304百万円

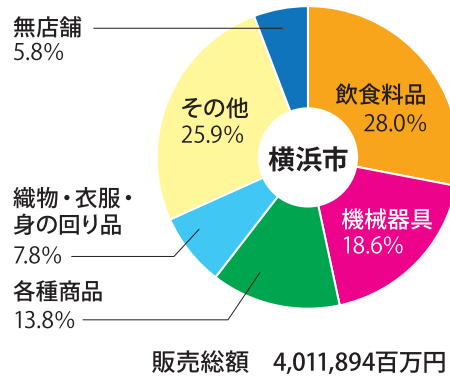


販売総額 6,687,696百万円

小売業



販売総額 199,802百万円



販売総額 4,011,894百万円

資料：平成 28 年経済センサス活動調査

● 区別事業所数・従業員数・年間商品販売額

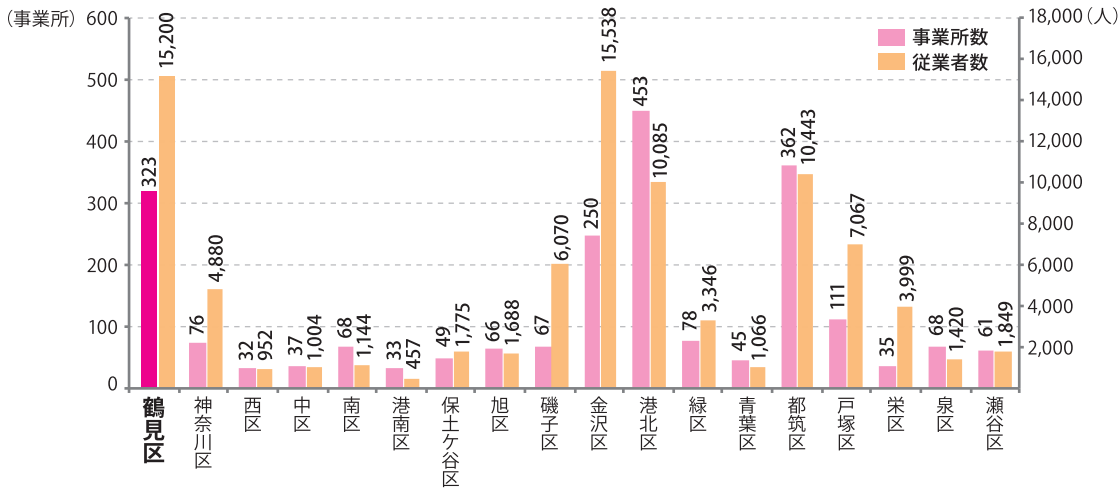
区 別	事業所数			従業員数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	年間商品 販売額 順位
	総数	卸売業	小売業			
横 浜 市	20,225	5,032	15,193	227,556	10,699,590	
鶴 見 区	1,429	365	1,064	13,054	549,105	7位
神 奈 川 区	1,441	553	888	16,663	1,101,797	3位
西 区	1,936	405	1,531	23,837	1,886,908	1位
中 区	2,105	605	1,500	18,811	1,015,734	4位
南 区	991	230	761	6,881	168,482	16位
港 南 区	996	138	858	12,601	349,857	10位
保 土 ヶ 谷 区	831	167	664	7,622	249,785	12位
旭 区	882	158	724	9,274	252,823	11位
磯 子 区	664	139	525	6,830	177,031	15位
金 沢 区	1,017	289	728	11,364	446,013	9位
港 北 区	1,894	635	1,259	25,953	1,660,834	2位
緑 区	675	145	530	7,309	236,778	13位
青 葉 区	1,319	220	1,099	14,928	446,289	8位
都 筑 区	1,442	425	1,017	21,377	902,473	5位
戸 塚 区	1,116	226	890	15,463	810,386	6位
栄 区	337	79	258	3,254	83,981	18位
泉 区	545	107	438	6,111	153,662	17位
瀬 谷 区	605	146	459	6,224	207,652	14位

資料：平成 28 年経済センサス活動調査

3 工業

鶴見区は、京浜工業地帯の中核として日本の重工業を支えてきました。事業所数については、昭和48年の1,096事業所をピークに、令和2年には323事業所とピーク時の約3割に減少し、また従業員数についても、60,000人を上回っていた昭和30年代後半と比べて、約4分の1となりましたが、現在でも、横浜市内の工業における重要な位置を占めています。

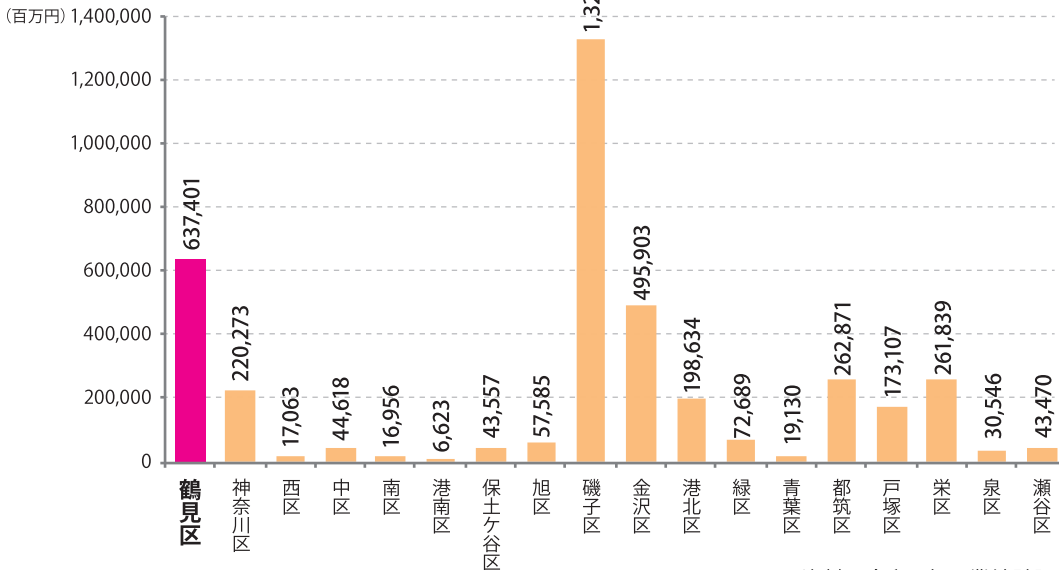
● 区別事業所数・従業員数



鶴見区は事業所数は18区中3位、従業員数は2位だよ！



● 区別製造品出荷額等



鶴見区は製造品出荷額等は、約6,374億円で、磯子区に続いて2位だよ！



資料：令和2年工業統計調査（従業者4人以上の事業所対象）

COLUMN 区の用途別水道使用量

資料：水道局及び横浜市統計書

令和3年度の鶴見区の水道使用量は、約2,975万m³でした。そのうち、公衆浴場用が約9.5万m³で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量（約63万m³）の約15%を占めています。

なお、鶴見区の令和3年末の公衆浴場数は25で、18区中、4番目の多さとなっています。



1 住宅

● 住宅の建て方別の世帯数 (単位: 世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	44,745	637,230
長屋建	895	19,514
共同住宅	96,236	1,064,905
その他	184	1,656
合計	142,060	1,723,305

資料: 令和2年国勢調査

鶴見区で持ち家に住む一般世帯は55.3%だよ!



住宅の建て方を見ると、共同住宅が最も多く96,236世帯(住宅に住む一般世帯数に占める割合は67.7%)と約3分の2の世帯が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが44,745世帯(31.5%)となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は67.7%で、横浜市全体の61.8%と比べ5.9%も上回っています。

● 空き家率

	鶴見区	横浜市	全国
空き家率	10.7%	9.7%	13.6%
住宅総数(戸)	151,690	1,835,800	62,407,400
空き家数(戸)	16,280	178,300	8,488,600

資料: 平成30年住宅・土地統計調査

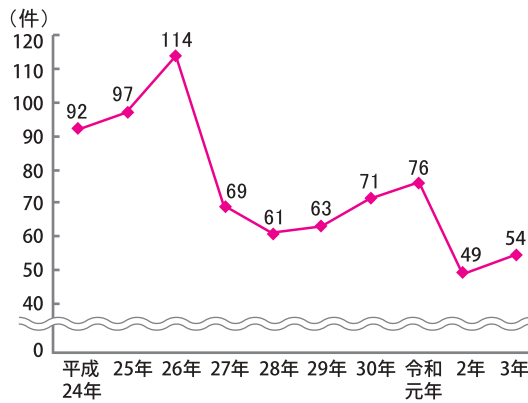
空き家率を見ると、鶴見区の空き家は16,280戸で10.7%を占めています。横浜市全体の9.7%に対し、鶴見区は空き家の割合が1.0ポイント高くなっています。

2 消防

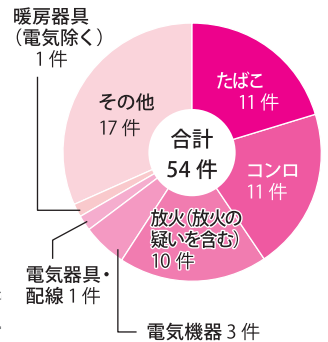
令和3年中の鶴見区内の火災発生件数は54件で、前年と比べると5件増加しました。火災原因としては、一番多いものが「たばこ」と「コンロ」でともに11件、次に「放火」10件となっています。

また、令和3年中の鶴見区内の救急車の出動件数は15,124件で前年度から881件増加しています。出動理由は、急病が全体の約70%を占めています。

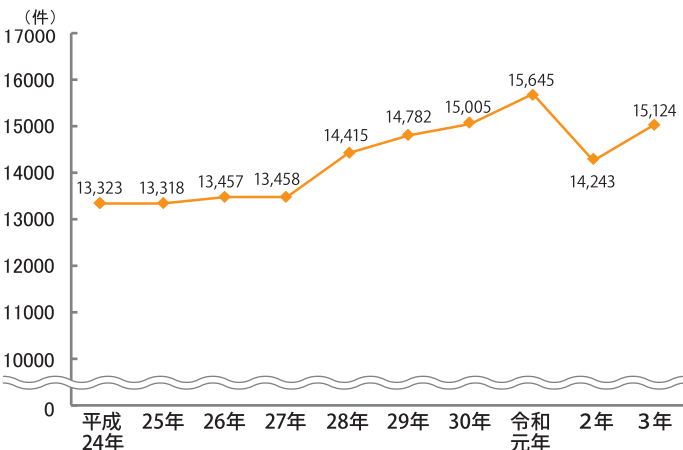
● 火災発生件数の推移



● 火災原因別件数



● 救急車出動件数の推移

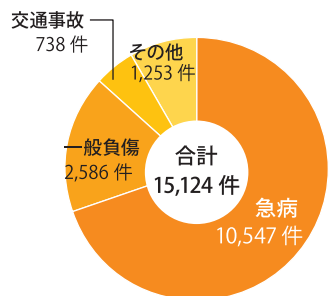


救急車の出動件数が増え過ぎると、空白地域*の増加につながり、傷病者の救命率が低下する恐れがあるよ。

*救急車が多数同時出場することで、その地域に救急車がない状態



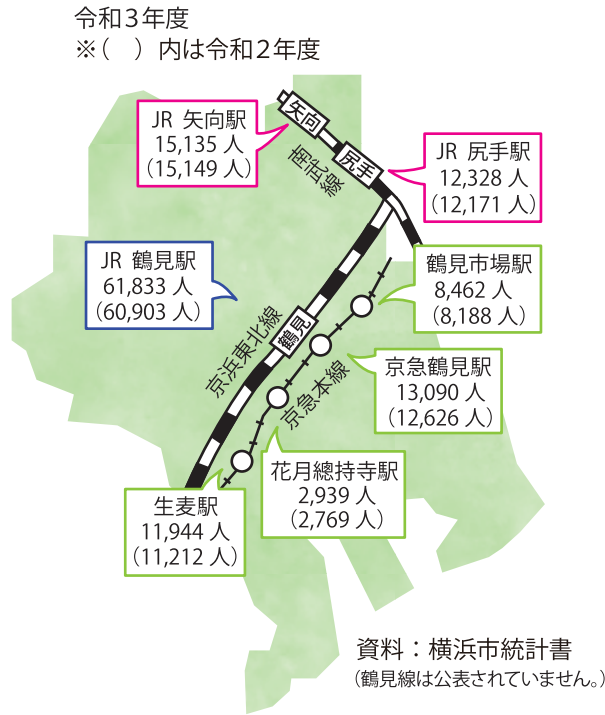
● 救急車出動理由



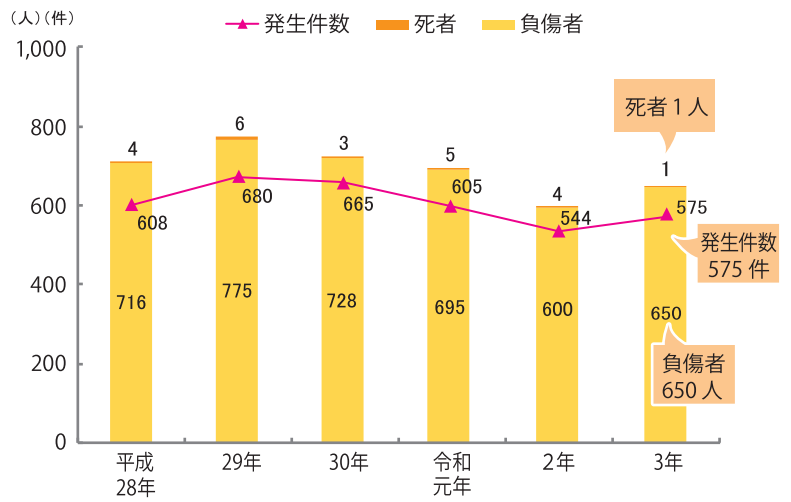
資料: 鶴見消防署

3 交通

区内駅別一日平均乗車人員



交通事故発生件数と死者・負傷者の推移



令和3年中は575件の交通事故が発生し、負傷者は650人、死者は1人でした。前年と比べると発生件数と負傷者数が増加し、死者数が減少しました。

4 犯罪

犯罪(刑法犯)の種類別認知件数 (令和3年)

(単位:件)

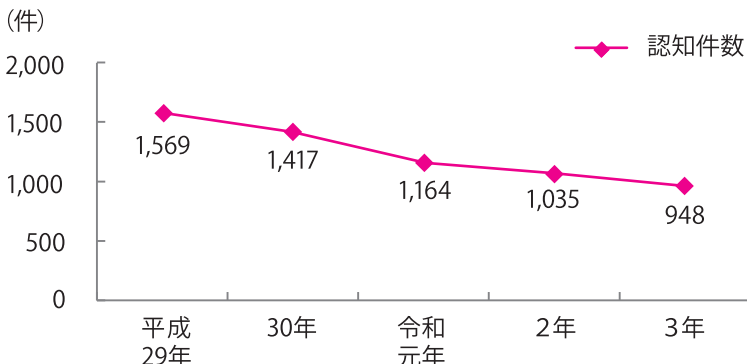
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯		知能犯	風俗犯	その他の刑法犯	総数
			自転車	その他				
鶴見区	6	62	199	469	66	9	137	948
横浜市	103	1,022	2,148	6,937	948	193	1,395	12,746

犯罪件数は昨年に比べて 87 件減少し、横浜市全体では 821 件減少したよ。

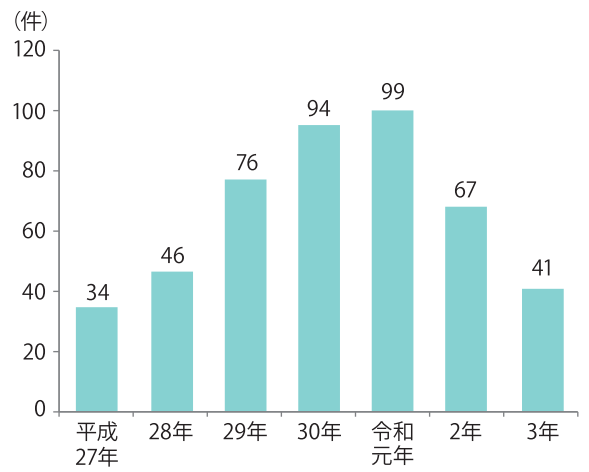


犯罪(刑法犯)認知件数の推移

令和3年中の鶴見区内の犯罪認知件数は948件で、平成25年以降減少を続けています。また、平成27年から令和元年にかけて増加していた特殊詐欺件数は、令和2年以降減少を続けています。

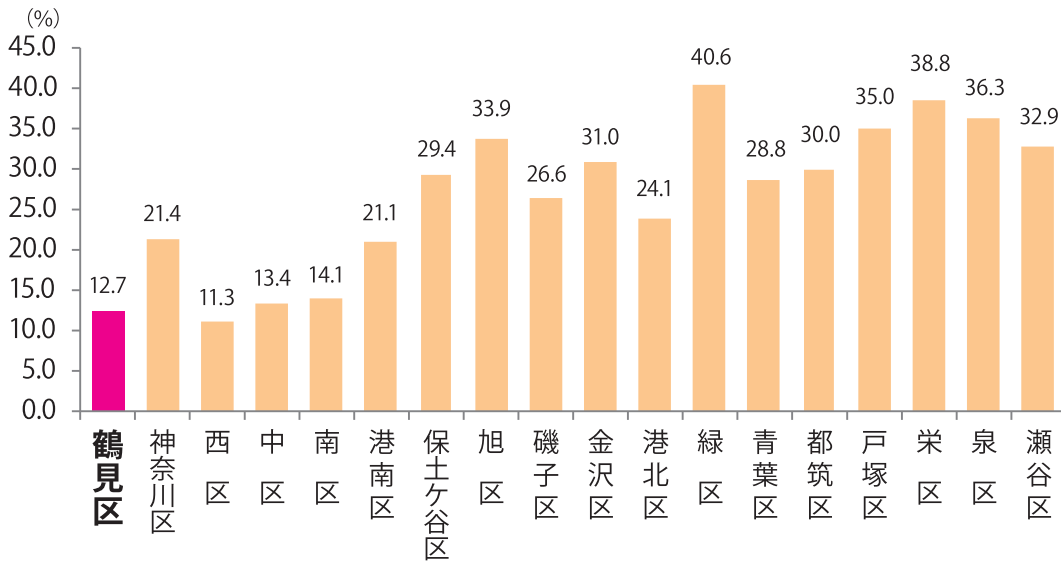


特殊詐欺件数の推移

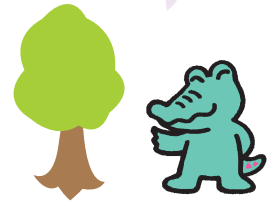


5 環境

● 緑被率（令和元（平成 31）年調査）

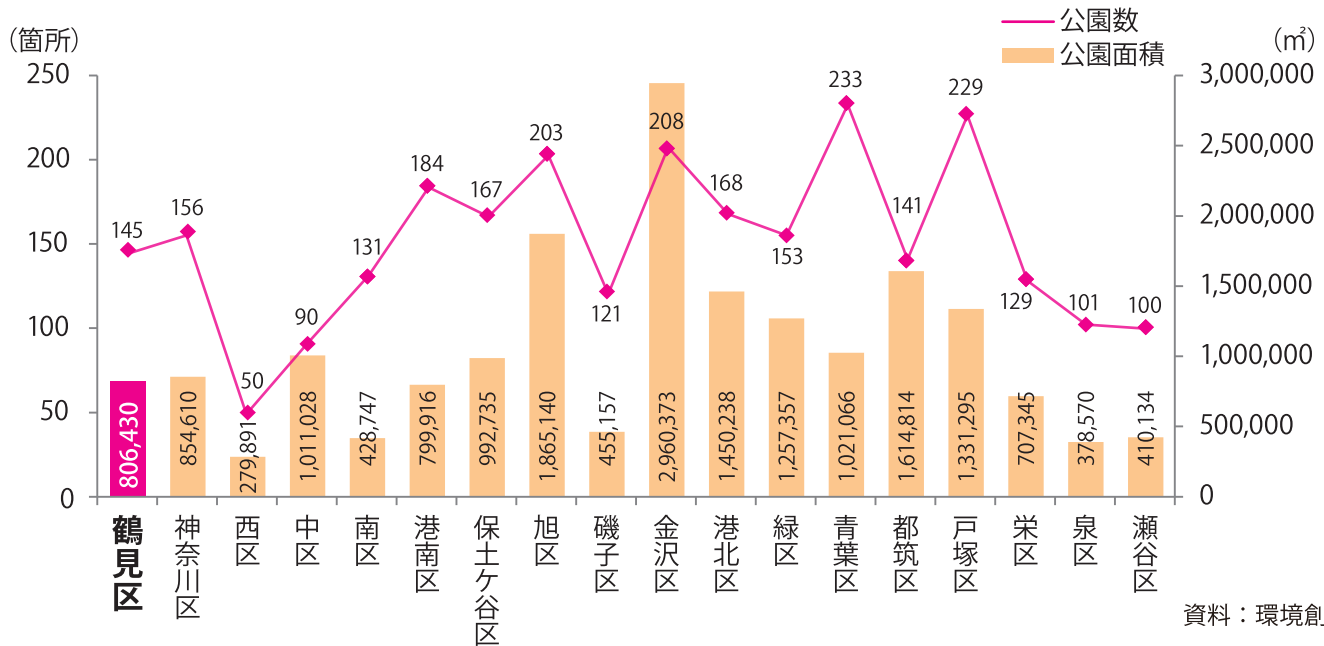


鶴見区の緑被率は、18区中17位で、減少傾向にあります。



資料：横浜市統計書

● 区別公園数・公園面積（県立公園含む）（令和4年3月31日現在）



資料：環境創造局

鶴見区には、令和4年3月31日現在、145箇所の公園があり、その面積は806,430m²となっています。そのうち、県立三ツ池公園が296,838m²と、区内の公園面積の約4割を占めています。

COLUMN ▶ 鶴見区のマスコットはなぜワニなの？

僕の横顔に似てるでしょ？

鶴見区マスコットキャラクターの「ワックン」は、区制60周年（昭和62年）を記念して昭和63年1月に誕生しました。

ワニが選ばれたのは、鶴見区の形がワニの顔の形に似ていること、「産業の街・鶴見」の力強いイメージにぴったりなことなどが主な理由です。



※緑色の部分が鶴見区

6 区民フェスティバル

鶴見区では、区民フェスティバルを開催しています。それぞれのフェスティバルは、会場周辺の地区連合町内会や地元企業等により組織された実行委員会の企画運営により、開催されています。

● 三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル

多数の区民ボランティア参加のもと、ステージでの各団体の発表や、ボランティアによる牛乳パックの回収などを通じて、「文化と環境」に関心を持ち、積極的に理解することを目的に開催しています。

また、鶴見区の友好交流都市である、福島県西会津町や棚倉町、石川県輪島市の特産物の販売なども行われています。

会 場 県立三ツ池公園



団体によるステージイベント

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。

● つるみ臨海フェスティバル

「鶴見大好き 私のふるさと～みんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマとして、臨海部に親しみながら誰もが楽しめるふれあいの場を提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていけるあたたかな地域づくりを目的に開催しています。ステージでは、地元小中学校や団体による多彩なパフォーマンスが繰り広げられ、地域の団体や地元企業が多数の模擬店を出店し、まつりを盛り上げています。

また、毎年恒例のお楽しみ抽選会も行われ、会場は大いに賑わいます。

会 場 入船公園

開催日 令和4年10月15日（土）



ステージイベント
（みんなで踊ろう!!鶴見ふるさと音頭）の様子

資料：鶴見区地域振興課

COLUMN 関東の沖縄タウンつるみ!? ～NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」の舞台～

鶴見区には、多くの沖縄料理店や沖縄芸能の団体があります。明治の後半、沖縄では土地整理事業により土地を失った人々が県外・海外へ移住するようになりました。また同じ頃、鶴見では京浜工業地帯の工場などの敷地の埋立・造成のため労働力の需要が高まり、沖縄出身の若者が出稼ぎに来て定住するようになりました。現在でも、鶴見区は沖縄出身の方が多く、区内のお祭りや沖縄料理店などで、沖縄の文化や方言に出会うことができます。



ウチナー祭開幕宣言

● 鶴見ウチナー祭

会 場 入船公園

開催日 令和4年11月5日（土）～6日（日）

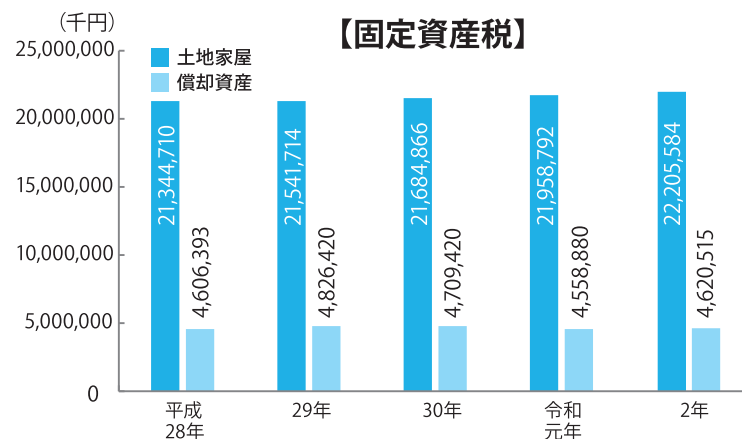
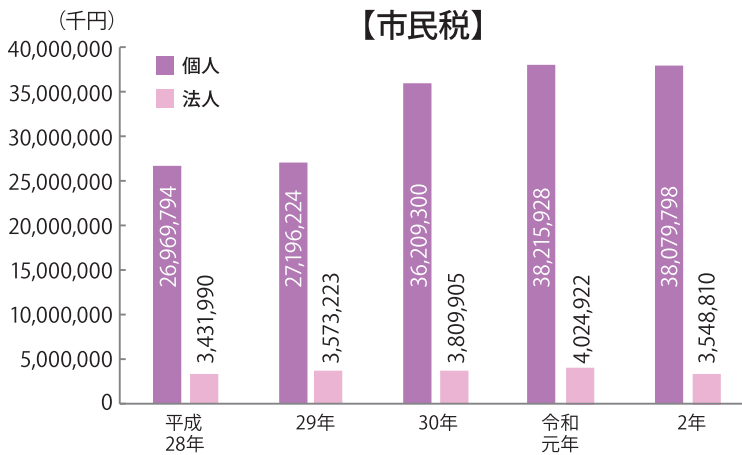


7 市税

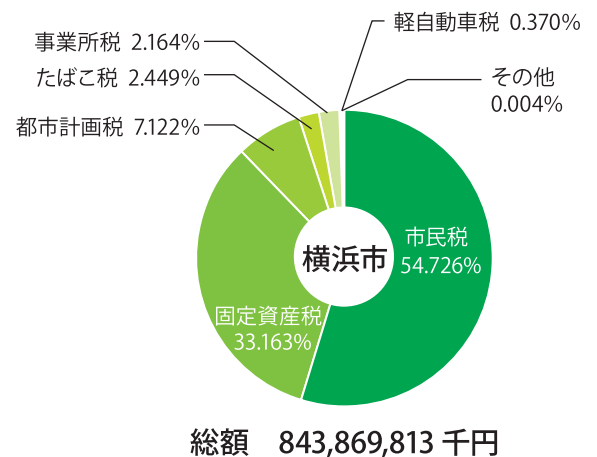
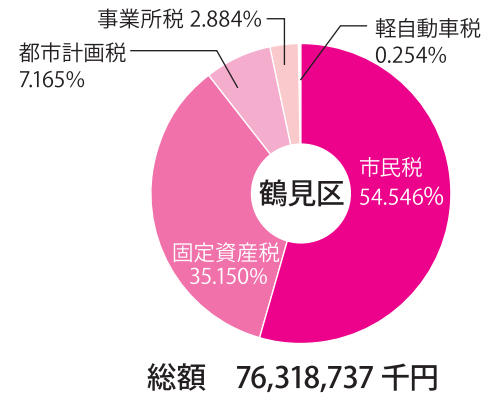
横浜市の令和2年度の市税収入は、約 8,439 億円で、前年度に比べ約 26 億円の減収となりました。税別では、「個人市民税」は給与所得納税者の増加により増収、「法人市民税」は税制改正等により減収、「固定資産（土地家屋）」は新築家屋の増加により増収となっています。

なお、鶴見区の令和2年度の市税収入は約 763 億円で、市全体の約 9.04%を占めています。

● 鶴見区税別収入の推移



● 市税収入の構成比 (令和2年度)



資料：令和2年度市税決算額調

8 戸籍

● 戸籍数 (本籍) (令和4年3月31日現在)

横浜市合計 1,299,994 戸籍 (単位：戸籍)

1位	2位	3位
港北区 111,463	鶴見区 103,653	旭区 90,191

● 住民登録世帯数 (令和4年3月31日現在)

横浜市合計 1,842,142 世帯 (単位：世帯)

1位	2位	3位
港北区 176,636	鶴見区 150,251	青葉区 138,742

鶴見区の戸籍数 (本籍) は令和4年3月31日現在で、103,653 戸籍 (前年より 144 戸籍減少)。また、区内に住民登録をしている世帯の数は、150,251 世帯 (前年より 114 世帯増加) で、それぞれ港北区に次いで 18 区中第2位となっています。

戸籍数、住民登録世帯数ともに、前年と同じ順位の2位だよ!



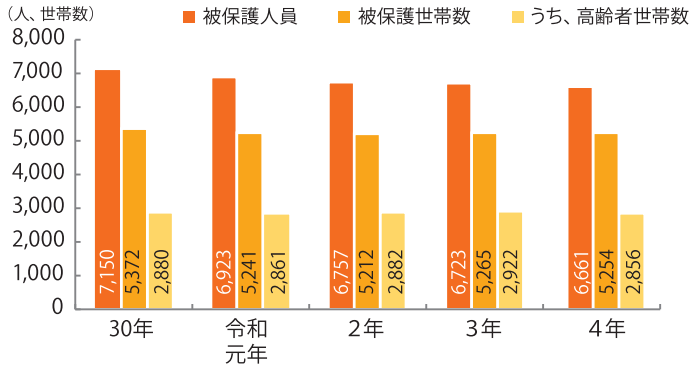
資料：鶴見区戸籍課
横浜市統計書

9 生活保護

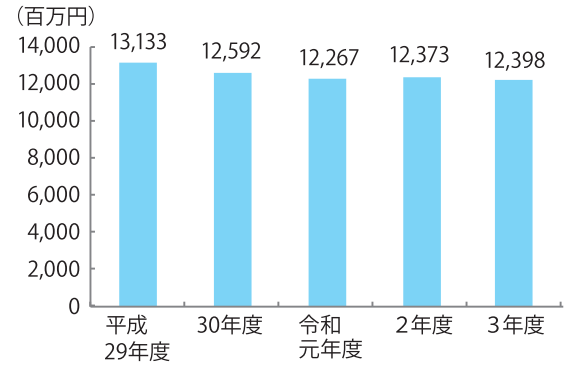
令和4年4月現在の鶴見区において、生活保護を利用している世帯は 5,254 世帯、人員は 6,661 人で、それぞれ中区、南区に次いで 18 区中 3 番目の規模となっています。

最近の動向としては、長引くコロナ禍に伴う雇用状況や経済情勢の変化の中、緩和措置を伴う生活困窮者自立支援制度に基づく住居確保の支援や、社会福祉協議会による生活資金の貸付などが継続されていたこともあり、生活保護世帯数等については、前年度から大きな変化はありません。また、高齢化の影響で、利用世帯のうち高齢者世帯が5割を超えています。

● 生活保護人員・世帯数の推移 (各年4月現在)



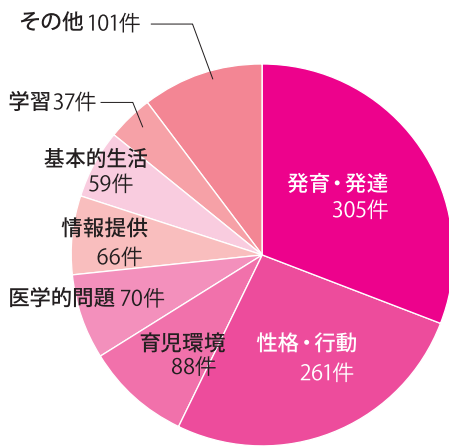
● 生活保護費の推移 (各年度決算額)



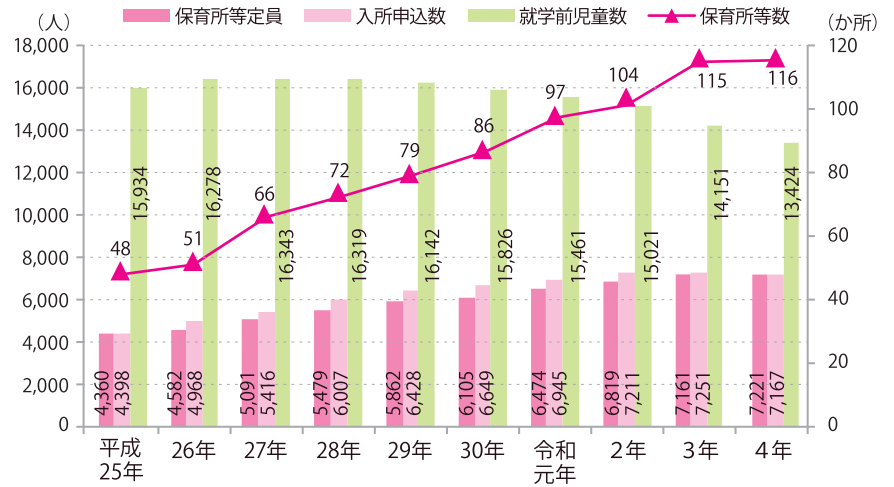
資料：鶴見区生活支援課

10 子育て

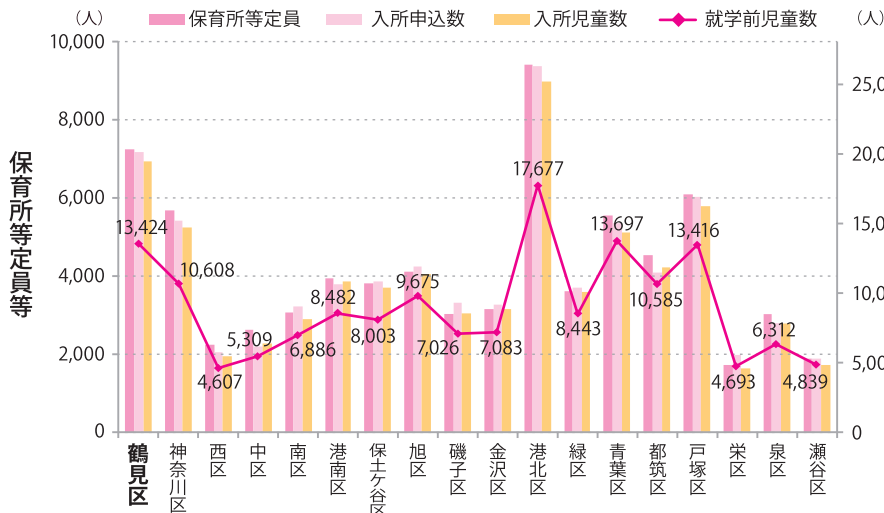
● 子ども家庭支援相談状況 (令和3年度延べ件数)



● 鶴見区の保育所等利用状況について (各年4月1日)



● 18区別の就学前児童数と保育所等の状況 (令和4年4月1日現在)



鶴見区は保育所等定員数が18区中2番目、就学前児童数が18区中3番目に多いよ。また、就学前児童数と入所申込数は減少しているよ。



資料：鶴見区子ども家庭支援課

※保育所等：保育所、認定こども園、地域型保育（小規模保育、家庭的保育、事業所内保育）を含む。

11 健康

● 平均寿命

鶴見区の平均寿命は18区中、男性と女性ともに15位、平均自立期間は18区中、男性が15位、女性が16位となっています。

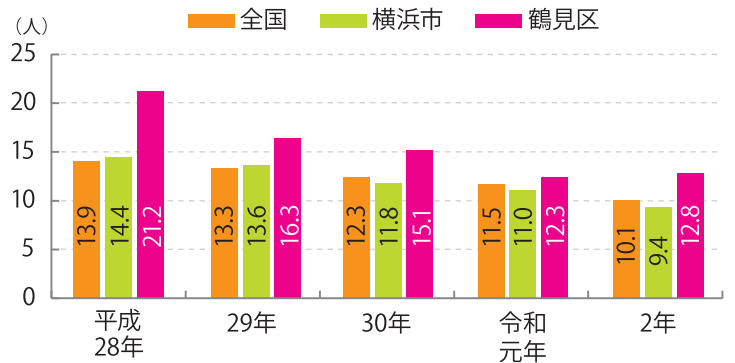
区別生命表(令和2年)

	平均寿命		平均自立期間	
	男	女	男	女
横浜市	82.49	88.26	80.02	83.58
鶴見区	81.63	87.17	79.05	82.11
神奈川区	82.56	88.37	79.97	83.37
西区	81.78	86.75	79.24	82.37
中区	79.59	86.33	76.72	81.48
南区	80.65	86.46	78.12	81.92
港南区	82.25	88.10	79.73	83.23
保土ヶ谷区	81.82	88.08	79.16	83.31
旭区	81.98	88.80	79.56	84.01
磯子区	82.45	87.76	80.06	83.23
金沢区	82.80	87.81	80.49	83.45
港北区	83.19	88.30	80.60	83.68
緑区	83.35	89.13	80.92	84.65
青葉区	84.22	89.92	81.90	85.41
都筑区	84.80	90.08	82.21	85.30
戸塚区	83.19	88.97	80.84	84.38
栄区	82.98	88.48	80.99	84.11
泉区	82.87	89.07	80.54	84.32
瀬谷区	81.31	88.35	78.79	83.36

※平均寿命…0歳平均余命
平均自立期間…日常生活に介護を要さない期間の平均

● 結核

鶴見区の結核罹患率は、平成28年から減少傾向にありましたが、令和元年からは微増しています。



※結核罹患率とは、新規結核登録者数を人口10万人あたりに換算した数値

噛む 噛む COME COME 元気大作戦!

全身の健康には歯の健康も大きく関わっているよ!いつまでも、元気で食べて話して笑えるように、年に1~2回は歯科健診を受けようね。



● 主な死因の状況

主な死因は、多い順に、悪性新生物(がん)、心疾患、老衰となっており、全死因の5割を超えています。

主な死因の死亡数(単位:人)

	全死因	悪性新生物	心疾患	老衰	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	肝疾患	自殺	腎不全	慢性閉塞性肺疾患	その他
令和2年	2,392	706	360	252	137	112	92	45	43	49	25	571
平成元年	2,418	728	378	220	165	124	88	46	44	38	35	552
平成30年	2,503	720	418	225	188	146	90	44	47	30	45	550

資料:鶴見区福祉保健課

12 選挙

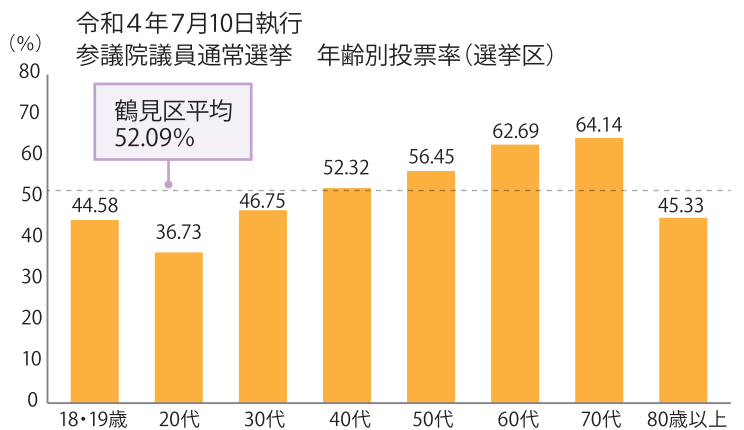
鶴見区の投票率は低迷しており、近年の選挙ではいずれも横浜市平均を下回っています。また、年齢別に投票率をみると、20代の投票率が最も低く、若年層を中心に投票率の向上が課題となっています。

● 最近の投票率

選挙名	選挙日	投票率(%)		18区中順位
		鶴見区	横浜市	
参議院議員通常選挙(選挙区)	R4.7.10	52.05	55.36	17位
衆議院議員総選挙(小選挙区)	R3.10.31	51.63	56.07	18位
横浜市長選挙	R3.8.22	44.18	49.05	18位
参議院議員通常選挙(選挙区)	R1.7.21	46.58	49.70	17位
統一地方選挙(市会)	H31.4.7	40.61	42.48	14位(17区中)

※H31.4.7の統一地方選挙の順位は、18区のうち無投票当選の1区を除いたもの。

● 鶴見区年齢別投票率(在外投票を除く)



※この表は在外投票を除くため、左表と平均投票率が異なります。

横浜市消防局消防艇、3代目「まもり」就役

鶴見区大黒ふ頭にあり、横浜市で唯一「水上消防救助部隊」が配置されている
鶴見水上消防出張所に令和3年11月、消防艇「まもり」が就役しました。



平成31年4月1日水上消防救助部隊発足

水上消防救助部隊・・・

消防艇により海上や河川で発生した船舶火災や沿岸地域での火災等に対応する「水上消防隊」と潜水士の国家資格を所持した隊員が配属され、水難事故に対応する「水難救助隊」で編成されている部隊だよ



訓練の様子

まもりの特徴！

全長24.5m・
全幅6m
総トン数49トン

石油コンビナート
などの大規模火災
に対応可能

後部甲板の広いフラットなスペースで
負傷者の救護が可能

水難救助で機動力を発揮する
小型救助艇「まもり2」を搭載

40トン級消防艇では国内初！
最大毎分32,000Lを放水可能
(普通消防ポンプ車約16台分)



放水の様子

横浜の工業の中核を担う鶴見区の臨海部
(海のまち)、そして横浜市の臨海部の安全・
安心を守るには欠かせない存在だね！！



略年表

年	月	できごと
建元元(1190)	—	源頼朝、上洛 鴨志田十郎、馬場次郎、寺尾太郎、寺尾三郎太郎などが 随行したことが『吾妻鏡』に記されている(平安時代末期)
承久3(1221)	—	承久の乱 戦傷死者の中に潮田四郎太郎、潮田六郎、寺尾又太郎、 寺尾左衛門尉などの名前が『吾妻鏡』に記されている
元弘3(1333)	—	新田義貞挙兵・鶴見合戦おこる
建武元(1334)	—	『松蔭寺古図』作成(室町時代)
永享8頃(1436)	—	諏訪氏が寺尾城を築城
慶長5(1600)	10	関ヶ原の戦い
6(1601)	—	五街道を整備 鶴見橋(現鶴見川橋)架設
16(1611)	—	二ヶ領用水完成
嘉永6(1853)	6	ペリー来航
安政6(1859)	6	横浜開港(6月2日開港記念日)
文久2(1862)	8	生麦事件おこる
明治5(1872)	9	新橋～横浜間鉄道開通、鶴見駅開業
22(1889)	4	市制施行(人口116,193人) 市制施行に併せて、鶴見地域に旭村、生見尾村 (後の鶴見町)、町田村(後の潮田町)誕生
38(1905)	12	品川・神奈川間に京浜電鉄(現京浜急行)開通、鶴 見停留所(現京急鶴見駅)開業
44(1911)	11	曹洞宗大本山總持寺 鶴見に移転
大正2(1913)	2	浅野総一郎、鶴見海岸の埋立に着手
3(1914)	5	平岡廣高、日本初の児童遊園地「花月園」を開園
12(1923)	9	関東大震災発生
14(1925)	4	鶴見町(旧生見尾村)と潮田町(旧町田村)が合併 鶴見町となる
15(1926)	3	鶴見線の前身「鶴見臨港鉄道」開通
11	—	第一京浜国道(現国道15号)全線開通
昭和2(1927)	4	鶴見町、旭村(現在の鶴見区全域と神奈川区・港 北区の一部)が横浜市に合併
10	—	横浜市の区制施行により鶴見区(当時の人口62,446 人)誕生(鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の5区)
3(1928)	6	横浜市電子安線生麦～金港橋間開通
18(1943)	7	私鉄鶴見臨港鉄道が国に買収され、国鉄鶴見線 (現JR鶴見線)になる
20(1945)	4	鶴見の大空襲で12,400余戸焼失
8	—	終戦
21(1946)	11	児童遊園地「鶴見花月園」閉園
25(1950)	5	花月園競輪場開場
29(1954)	4	三ツ池公園、県立公園に指定
31(1956)	9	横浜市、政令指定都市に指定
33(1958)	3	第二京浜国道(現国道1号)全線開通
9	—	台風22号で鶴見川氾濫 家屋水没648世帯、 床上浸水14,000戸
38(1963)	11	国鉄鶴見事故161人死亡
41(1966)	8	横浜市電生麦線廃止
42(1967)	5	鶴見川、1級河川に指定
44(1969)	5	「鶴見会館」開館
50(1975)	4	獅子ヶ谷市民の森開園
52(1977)	10	区制50周年 人口237,678人 (『鶴見区史』編纂)
55(1980)	1	鶴見図書館開館
12	—	末吉地区センター開館(鶴見区第1号)
60(1985)	10	鶴見公会堂開館
61(1986)	3	鶴見駅西口市街地改造事業完了 (本市施行の初の再開発事業)
62(1987)	10	区制60周年 人口243,751人 (『鶴見の歴史と人々のくらし』編纂)
63(1988)	1	鶴見区新総合庁舎完成
11	—	鶴見区マスコット「ワックン」制定
11	—	「横溝屋敷」市指定文化財第1号に指定
平成元(1989)	9	ペイブリッジ・スカイウォーク完成
2(1990)	6	上寺尾小学校コミュニティハウス(鶴見区第1号)開所
7	—	大黒ふ頭埋立完成
3(1991)	2	鶴見区のシンボルマーク制定
11	—	区民の花(サルビア)決定
6(1994)	5	鶴見駅西口行政サービスコーナー設置
12	—	潮田交流プラザ(国際学生会館・地区センター・地域ケ アプラザ(鶴見区第1号)・ふれあいショップPORT)開館
12	—	鶴見つばさ橋開通

年	月	できごと
平成7(1995)	4	環境事業局鶴見工場本格稼働
8(1996)	7	大黒海づり公園開園
9(1997)	5	入江川せせらぎ緑道開通
10	—	区制70周年 人口250,883人 (『鶴見懐かしの写真集』を編纂)
—	—	区の木(サルスベリ)決定
10(1998)	10	中途障害者地域活動センター「ふれんどーる鶴見」開所
11(1999)	7	馬場花木園開園
10	—	福祉保健活動拠点開設
12(2000)	4	理化学研究所「横浜研究所」発足
5	—	特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」開所
11	—	障害者地域活動ホーム「幹」開所
12	—	「馬場赤門公園」開園
13(2001)	3	「横浜市産学共同研究センター」開設
4	—	「横浜市立大学大学院(連携大学院)」開校
14(2002)	1	福祉保健センター開設
15(2003)	4	横浜新技術創造館「1ーディングベンチャープラザ」開館
16(2004)	4	国道357号線開通
18(2006)	1	「ゆうづる」(鶴見市場地域ケアプラザ・鶴見市場 コミュニティハウス)開所
19(2007)	3	東部地域中核病院「済生会横浜市東部病院」開院
5	—	鶴見中央地域ケアプラザ開所
10	—	区制80周年 人口267,447人 (『つるみみやげ』発行)
20(2008)	—	鶴見駅東西自由通路の再整備完了
21(2009)	4	横浜サイエンスフロンティア高等学校開校
22(2010)	3	花月園競輪場閉園
11	—	「鶴見会館」閉館
12	—	鶴見中央コミュニティハウス開館 鶴見国際交流ラウンジ開館
23(2011)	3	区民文化センターサルビアホール開館 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業完了
24(2012)	1	生麦地域ケアプラザ開所
4	—	福島県棚倉町、西会津町と友好交流協定書を締結
11	—	鶴見駅 駅ビル「CIAL鶴見」開業
25(2013)	2	石川県輪島市と友好交流協定書を締結
4	—	鶴見駅西口第二自転車駐輪場オープン(1,000台を収容)
27(2015)	2	馬場地域ケアプラザ開所
11	—	鶴見駅東口駅前広場整備完了
29(2017)	3	高速横浜環状北線開通
10	—	区制90周年 人口288,765人 (『鶴見みどころ90』発行)
30(2018)	4	旧鶴見工業高等学校跡地に特別養護老人ホーム、 聖灯看護専門学校開設、下野谷町三丁目公園開園
31(2019)	4	大黒ふ頭客船ターミナル完成 大黒ふ頭にクイーンエリザベスが初入港
令和元(2019)	6	旧鶴見工業高等学校跡地にリハビリテーション病院開設
11	—	「特定景観形成歴史的建造物」指定の馬場花木園 の古民家(旧藤本家住宅)オープン
2(2020)	10	横浜北線 馬場出入口供用開始
3(2021)	11	鶴見花月園公園開園
4(2022)	4	NHK連続テレビ小説「ちむどんどん」放送開始 (舞台地として鶴見が登場)

COLUMN 江戸時代の鶴見

江戸時代、鶴見の東海道筋は、街道の生麦村、鶴見村、市場村などに人が集まり、神奈川宿と川崎宿の間で「間の宿」として、にぎわいをみせていました。鶴見区域の大部分は幕府の直轄領(天領)で、代官が治めており、旗本領としては、獅子ヶ谷・駒岡・潮田(一時期)などがありました。

また、江戸時代の生麦は「御菜ハヶ浦」の一つとして栄え、新鮮な魚介類を江戸城に献上していました。御菜ハヶ浦とは、江戸城の御菜御着を定期的に献上するほか、各種の船役を勤める見返りとして、現在の東京湾の漁猟に特権を認められていた専業漁業村落のことです。生麦以外にも、芝金杉、本芝、品川獵師町、大井御林町、羽田(いずれも現東京都)、神奈川獵師町、新宿(いずれも現神奈川区)の7浦が指定されていました。

つるみマップ ★ TSURUMI MAP





発行：鶴見区役所総務課統計選挙係

横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1

電話 045-510-1660 FAX 045-510-1889

Eメール tr-toukei@city.yokohama.jp

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/>

令和5年2月発行